

ニューズレター 経済教育学会

2015. Dec. No. 24

会長挨拶・・・1 事務局長挨拶・・・2 大会報告・・・2 学会賞・・・3 春季研究集会案内・・・4
理事会議事録・・・5 その他活動情報・・・8 会費納入のお願い・・・8 編集後記・・・8

会長に猪瀬武則会員が選出されました。ご挨拶を掲載します。

会長就任のご挨拶



経済教育学会 会長
猪瀬武則（日本体育大学）

弘前大学在職時の2005年から翌年にかけて、一年に満たない代表幹事をつとめました。いろいろな経緯があり、会長に名称変更となり、となれば、なるほど、当方のようなものが下働きすることに異論もあることでしょうか。こうした仕事は、理念主義ではなく、プラグマティックにとも思うのですが・・・。

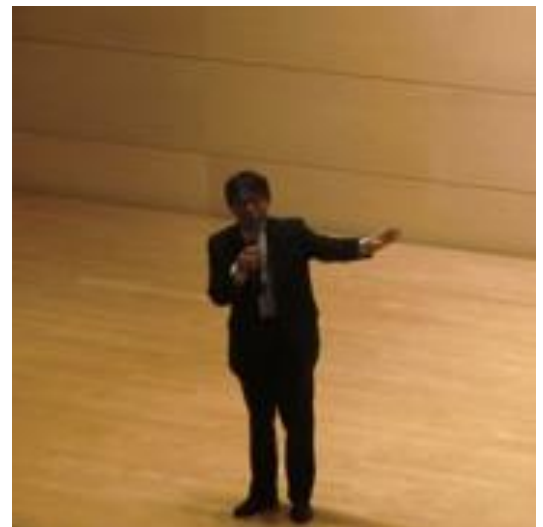
おもえば、名称変更は代表幹事のみならず、学会名、ひいては学会誌名にも及びました。藤岡会員から「経済学教育を経済教育へ」という提案は、反対はありましたものの支持されました。隣接分野の多様な学問との協働、のみならず初等中等教育にも会員拡大・裾野を広げるねらいでした。超越的で特権的、高踏的な体質を持つのではなく、民主的で水平的な運営についての高揚感がありました。

「原論教育の危機」から、取り組まねばならない問題の質も輻輳し、より広範な「経済教育」が求められるようになり、充実期というより転換期といえるのかもしれませんが。こうして成長したはずの学会であればこそ、いかなる立場からであれ、自己の存立基盤のみを墨守するのではなく、多様性を認め、相互に批判が可能な豊饒を享受したいものだと思います。

と、大見得を切ったものの、現在の会の運営は、財政逼迫。委員による対策が練られています。当時の日大事務局が提案した会費の値上げ案に、中途半端な折衷案をださなければよかったなあ、と後悔が募ります。現在、持続可能とはいえない財政状況に、僅かばかりの会費値上げは喫緊の課題といえるのではないのでしょうか（弱腰の私見です）。

一方、山根前会長が尽力された国際化の課題もますます重要となっております。韓国経済教育学会との相互交流を深めることは当然としても、山岡道男会員が幾たびも試みた環太平洋「国際セッション」、昨年八木尚志会員による欧州から招聘した講演者など、いっそうの多様で質的な拡大も求められています。その財政基盤は、経済教育学会をあげての科研費申請などで充実させるものかもしれません。今年の大会では、浅野忠克会員による国際経済教育誌への投稿の「極意」を伝授いただきました。経済学と教育学それぞれに各会員はしっかりした業績をあげられておられることは承知でも、欧米の経済教育誌へのいっそうの投稿も必要なことのように思われます。

長広舌すぎました。まずは、よろしく願いいたします。



事務局長に齋藤哲哉会員が選出されました。ご挨拶を掲載します。

事務局長就任のご挨拶

経済教育学会 事務局長

齋藤 哲哉 (日本大学経済学部)

新事務局長の齋藤哲哉です。この度、大坂前事務局長より同役職を引き継ぎました。学会誌の英文対応や財政再建など、種々の課題もあり、皆様に頼ってしまうことも多いかもしれません。しかし、学会のさらなる発展をサポートさせていただきたく思います。慣れない仕事ですので、始めのうちは皆様にお頼りすることや、ご迷惑をおかけしてしまうことも多いかもしれませんが、何卒よろしく願いいたします。



◆◇◆経済教育学会第31回大会報告◆◇◆

本年、9月26日(土)から27日(日)まで、日本体育大学世田谷キャンパスにおいて、経済教育学会第31回大会が開催されました。



初日は、例年通り、基調講演とシンポジウム、二日目に分科会となりました。

全体テーマは、「だれのために、なんのために—経済と倫理の接点を探る—」でした。

基調講演の講演者は、北海道大学・橋本努氏の「一貫した立場の形成を介助する経済倫理教育」と題して、「現代経済をめぐるイデオロギー状況」を巡ってのワークショップ形式の講演を頂きました。経済倫理をめぐる四つの問題（利益／道徳、原理／秩序としての善、自由な関係性／人為的リベラル性、包摂／非包摂主義）の具体的課題にイエスかノーで答えさせ、それらから、近代卓越主義、共和主義、耽美的破壊主義／支配者嫌悪主義、国家型ディープ・エコロジー、開発（独裁）主義、市民的コミュニタリアニズム、地域コミュニタリアン・アナキズムなどに、自ら類型するものでした。会場の会員の回答傾向の結果は、学会誌や橋本氏のHPに譲るべきことと思いますが、意外な結果（本人が意図する立場との懸隔）に一同、感嘆していたことが記憶に残ります。

シンポジウムでは、「経済教育の倫理的基礎付けは可能か？—目標・内容にわたる検討」というタイトルで、古河幹夫（長崎県立大学）、松尾 匡（立命館大学）、山根栄次（三重大学）氏に登壇頂きました。司会は、浅野忠克（東京都市大学・非）氏。経済教育の目標・内容に（経済）倫理をどのように位置づけるか、功利主義やパレート最適・効率性をどのように位置づけ教えるべきか、学校教育で話題となっている「効率と公正」を、経済教育としてどのようにあつかうべきかなどを投げかけましたが、古河氏は、功利主義の可能性と限界を網羅的に解説され、むしろ卓越主義に重心をおかれる意図を伺いました。松尾氏は、ジェイコブズからの商人・武士の倫理、経済学的発想・非経済学的発想から持論を展開されました。山根氏は、現状の学校における経済教育での倫理の扱いに懸念を示し、更なる倫理の正当な位置づけを論じました。時間が限られていたこと、それぞれが十分に論じるに至りませんでした。端緒を開くことが出来たと思っております。

分科会は、6分科会、2特別分科会でした。例年通り、大学での導入教育・専門教育、金融教育、キャリア教育、初等中等段階教育の発表が、19本、倫理に関する発表が、4本合計で、23本の発表がありました。

特別分科会 I では「中高を含めた経済教育に多様性を真に生かすために—参照基準と経済教育—」では、新井氏・塩沢氏、吉原氏・吉田氏が午前午後に登壇され、これまでの中高の経済教育におけるミクロ経済学を土台とした様々な教育実践の流れをふまえつつ、大学を含めた日本の経済学会における経済学の多様性を生徒自ら

が考えることを支援するうえでどのような可能性をもつか議論されました。Ⅱ「海外の経済教育現状から日本の経済教育をとらえ直す」では、小川氏が元 CEE ディレクター・元インディアナ大学ココモ校准教授の立場から現状を報告、浅野氏が欧米経済教育誌への投稿・採択の現状報告、服部氏がドイツ経済教育の近状、猪瀬が英国の批判的経済教育論を報告しました。

参加者は 100 名程度でした。報告参加された皆様方、ありがとうございました。なお、開催にあたって資金・人材・機材・設備に関して日本体育大学から、全面的で多大な支援をいただきましたことを付記致します。



足を延ばして

2015 年度の全国大会が開催された日本体育大学世田谷キャンパスは、東急田園都市線の桜新町駅からサザエさん通りを 15 分ぐらい歩くと着きます。その途中、少し通りを入ったところに長谷川町子美術館があります。もともとは長谷川町子姉妹の收藏美術品を展示するために作られました。もちろんサザエさんの漫画を中心とした絵本や原画も展示してありますが、静かな世田谷の住宅地の中で、美術に親しむ機会を提供しています。
(穂)

第 2 回経済教育学会賞選考結果



第 2 回経済教育学会賞選考委員会

委員長 中谷 武雄

第 2 回経済教育学会賞は選考委員会での厳正、公正な審査及び 2015 年 7 月 25 日の開催の理事会での慎重な審議を経て下記の 5 名に決定し、第 31 回全国大会の席上、山根会長より表彰され記念の楯が授与されました。

- 1) 経済教育学会賞(研究部門) 柴田 透 氏
対象：『比較経済学教育の研究』
(2014 年 4 月、三恵社刊)
- 2) 経済教育学会賞(研究部門) 菅原 晃 氏
対象：『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』(2013 年 河出書房新社刊) 及び『図解 使えるマクロ経済学』
(2014 年 KADOKAWA 刊)
- 3) 経済教育学会賞(教育実践部門) 岩田 年浩 氏
対象：『社会人になって成功する大学生生活術—40 のアドバイス』
(2014 年 11 月 アートビレッジ刊)
をはじめとする一連の教育業績
- 4) 経済教育学会奨励賞 呂 光曉 氏
対象：「経済的な見方や考え方と日常経験の関係性に関する研究—小学校児童を対象に—」(『経済教育』第 33 号 130—140 頁 2014 年 9 月刊)
- 5) 経済教育学会功労賞 藤岡 惇 氏
対象：本学会に対する長年の御貢献

【授賞理由】

- 1) 柴田氏の著作は経済学教育の課題について「<どのような>経済学の内容を、<どのようにして>、<誰に>教えるか」という 3 点で捉え戦後直後の日本の高校社会科教科書の分析や金融危機を受けてのアメリカの経済学教科書の構成(の変化)、経済(学)の特徴、ICT、教員養成系学部における経済教育について幅広く考察したものであり経済学の多様性を考慮しつつ教育現場でなされるべき配慮と工夫に関し学習指導要領の分析から高校・大学の現場での実践も視野に入れ幅広く分析した優れた業績である。
- 2) 菅原氏の 2 冊の書籍は「経済学のゆるぎない基礎を身につけるために」というスタンスから経済の見方・考え方を GDP、貿易黒字、比較優位、国債などの具体例から解説したものであり、日常生活から経済のしくみへと導く手法が各所にあり授業で使える教材が満載されている。「日常の世界」から「科学の世界」へ、「子どもの視点」から「教師の視点」へという方向性を体現した書であり、「暗記強要」と揶揄されがちな中高の経済教育に一石を投じる秀作である。
- 3) 岩田氏の著作は、衣食住、家族、流行、人生論など多岐にわたる分野についてわかりやすく解説した教育・学問論、大学・教授論、社会人生活論であり、

新入生だけでなく高校生やその保護者、高校教員にも役立つ指南書である。随所に経済(学)に関わるトピックスや課題にも触れられており、学問的な見地から生き方に言及している点で、類書にありがちな説教めいた道徳論ではなく長年の大学教師としての経験や実践からの問題提起となっている点が光る。

- 4) 呂氏の論稿は子どもの「認知的・概念的枠組」の形成における「知覚」や「経験」の役割や意義について最近の学会の大会テーマや研究報告や研究史をふまえた上で児童合計290名を対象に自ら企画実施したアンケート調査の綿密な分析を基礎に子どもたちの買い物行動やその経験と「経済的な見方や考え方」との関係性について明らかにしたものである。更なる研究発展が期待でき奨励賞にふさわしい。
- 5) 藤岡氏は本学会の前身の経済学教育研究会及びその準備会発足当時の会員であり長らく幹事を務めてこられただけでなく長く事務局を務められた。春季集会や全国大会の運営でも常に積極的な役割を果たしてこられ、ご自身の教育実践にもとづく発表や機関誌への投稿だけでなく機関誌編集にも深く関わってこられた。現在の学会長に相当する代表幹事も1994~95年、97年~98年に務められ、国内外の関連学会との交流にも尽力された。学会に対する長年の貢献に対し功労賞を授与するにふさわしい。

注) 選考委員会委員は2014年9月21日開催の理事会で、中谷武雄、加納正雄、河原和之(以上新規)、大坂洋、橋本勝(以上留任)が推薦され互選により中谷武雄を選考委員長に選出した。ニューズレター22号(2014年12月発行)に募集記事を掲載。また、応募規程の詳細は『経済教育』33号にも掲載。但し、指定募集期間では応募件数が少なかったため、3月27日開催の理事会の議を経て、募集期間を特例として1か月延長し4月末日で締め切り審査を開始した。審査委員が主担当を中心に十分検討を重ねた上で、7月11日に審査委員全員が集まり、長時間の検討を行い授賞候補を決定し7月25日の理事会で委員長から提案し、理事会での更なる審議を経て最終決定した。



【今後の学会スケジュール】

2016年3月28日(月)

経済教育学会春季研究集会(仙台市:情報・産業プラザ)

2016年9月10日(土) 11日(日)

経済教育学会第32回全国大会(神戸市:流通科学大学)

春季研究集会・拡大理事会のご案内と報告者の募集

2016年3月28日(月)

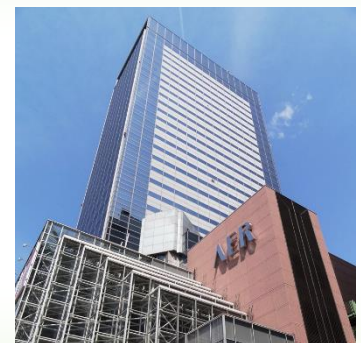
実行委員長 金子 浩一(宮城大学)

経済教育学会2016年春季研究集会・拡大理事会を以下のように開催しますので多数ご参加ください。会場は仙台駅から3分ほどです。

今回の春季研究集会は、「学習指導要領改訂一巡後の経済教育」をテーマに行います。2011年度の小学校の学習指導要領改訂から5年が経過し、2015年度末をもって高校までの改訂が一巡します。また、既に次期の学習指導要領改訂の議論も始まっており、新科目の検討もなされています。本研究集会では、これらの状況のもと、経済教育の在り方について考えていきます。

研究集会の冒頭は特別講演を予定しています。その後、共通論題「学習指導要領改訂一巡後の経済教育」と自由論題それぞれ2件ずつ研究発表を行います。

その後、拡大理事会を行い、夜は懇親会を開催予定です。多くの方に参加いただき、有意義な意見交換ができれば幸いです。



日時：2016年3月28日(月) 13:00~18:00 (受付 12:15 より)

会場：仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(1)

(AER6階 駐車場有料)

仙台市青葉区中央1丁目3番1号 TEL:022-724-1200

《プログラム》

3月28日(土)

12:15 受付開始

13:00~13:50 特別講演

13:50~16:30 研究発表

16:30~18:00 拡大理事会

18:00 閉会

19:00~21:00 懇親会(仙台駅近郊予定)

発表申込件数などの関係で時間は前後する可能性があります。

宮城美味しいもの紹介

学会参加の折にはその地域の食文化にもぜひ触れていただきたいと思います。

【笹かまぼこ】仙台名物の定番ですが、佐々直さんの生姜入り笹かまはピリッとしてお酒のつまみにも最適です。震災で名取の閑上工場がなくなりましたが、現在も復興に向けおいしい笹かまを生産されています。仙台駅2階などでも購入可能です。



《研究発表申込み》 締切：2016年1月18日(月) 必着

- ・申込方法： Eメールまたは郵送にて必要事項を記入し、下記連絡先に件名「春季研究集会発表申込」にて送付ください。共同発表の際は、代表者の方を最初に記入ください。
- ・記入事項： ①報告者名 ②ご所属・職務 ③連絡先電話番号 ④メールアドレス ⑤共通論題・自由論題の希望 ⑥発表テーマ ⑦発表要旨(400字程度)
- ・その他： 申込者が多い場合には、発表テーマにより実行委員会で選定します。選定結果は1月末までにお知らせします。

《研究集会・懇親会 参加申込み》 締切：2016年2月12日(金)

- ・懇親会：3月28日(月) 19:00 仙台駅近郊予定
- ・会費：5000円程度予定(当日お支払)
- ・参加申込：年明けからウェブで受け付けます。研究集会に参加される方は以下のページでご確認ください。

<http://www.myu.ac.jp/~kanehiro/K.html>

(年明けに作成予定)

《申込み・連絡先》

宮城大学 事業構想学部 金子浩一

〒981-3135 宮城県黒川郡大和町学苑1-1

Mail: kanehiro@myu.ac.jp Tel: 022-377-8346 Fax: 022-377-8390 (学部共通)

【2015年度7月25日経済教育学会理事会議事録】

出席者：阿部信太郎、あんびるえつこ、猪瀬武則、橋本勝、大坂洋、齋藤哲哉、塩田尚樹、中里弘穂、中谷武雄、新里泰孝、八木尚志、山根栄次

オブザーバー：金子浩一

定足数14名：出席者12名、委任状8名

◆議長選出◆

山根会長を選出。書記は齋藤哲哉。

◆審議事項◆

1. 前回理事会議事録の確認

メールでの照会后、特に異論はなく、了承された。

2. 2016年春季研究集会について

宮城大学での開催(実行委員長：金子浩一会員)が確認され、金子実行委員長を補充理事とすることが了承された。日程は、3月26日以降とする方針までを確認し、会場の都合などを考慮して金子理事に一任することとした。シンポジウム開催の有無、学生アルバイトの確保なども若干議論されたが、内容も実行委員会に一任することとした。概要・報告募集などは12月発行予定のニューズレターに掲載し、2月末までに内容を確定することが確認された。

3. 第31回全国大会について

猪瀬実行委員長より、シンポジストの選出経緯を含めて準備状況が説明され、分科会の設定、

司会担当などを検討し決定した。尚、特別分科会設定について大坂事務局長及び猪瀬実行委員長からの提案があり、種々議論の上、了承された。懇親会の運営などを含め、細部の運営については実行委員会に一任することとした。

4. 2014年度決算案、2015年度予算案について

新里会計担当理事より、2014年度決算案の説明があり、監査報告が示され、了承された。特に監査意見として、監査の任期、任命方法の明確化の必要性が指摘され、次期監査からその点を配慮することが確認された。

次いで、新里理事より、2015年度予算案の提案があり、種々議論の上、原案通り承認された。新里理事からは、理事選挙と学会賞選考が重なるため2015年度は出費が増える特殊事情があるものの、それを抜きにしても学会財政が逼迫しつつあるという説明があり、全国大会の要旨集の電子化など可能ところで節約することが確認されたが、次年度以降の大会参加費導入などの予算削減案については今後の検討課題とした。

5. 韓国経済教育学会への対応について

事務局より、韓国経済教育学会への対応の円滑化のため、裴光雄会員の推薦があり、本人の了承が得られれば補充理事とする提案も含めて了承された。

6. HP仕様変更について

事務局より、HPの仕様変更についての説明と複数の選択肢の提案があり、種々議論の上、予算上の大幅出費を伴わないことを優先して対応する方向性が確認された。

7. 次期会長、事務局の引き継ぎについて

事務局より、次期会長の選出方針、事務局の交代についての説明があり、種々議論の上、会長については、大会担当理事が次期会長を務めるという従前の原則に戻すことも視野に入れ、今後の議論に委ねることとした。また、混乱期もほぼ終わったので富山大の事務局担当は交代する方向が了承された。

8. 第2回学会賞について

中谷学会賞選考委員会委員長より、資料に基づき、5名の推薦があり、委員会提案の通り承認された。

◆報告事項◆

1. 理事会選挙結果について

塩田選挙管理委員会委員長より過日実施し

た選挙結果について報告があった。

2. 学会誌について

猪瀬学会誌編集委員会委員長より、『経済教育』第34号の編集状況の報告があった。併せて、投稿締め切り、抄録掲載、英文対応に関する投稿規定変更の提案があり、投稿締切日の変更などが了承された。

3. ニュースレターについて

事務局より、ニュースレター編集担当理事の交代案等に関する報告があり、若干の議論を行った。

【2015年9月26日（土） 経済教育学会理事会 議事録】

出席者：井草剛、猪瀬武則、岩田年浩、大坂洋、金子浩一、齋藤哲哉、高橋勝也、田中淳、中里弘穂、中谷武雄、橋本勝、山根栄次
オブザーバー：炭谷英一、久井田直之、横田数弘
定足数12名：出席者12名、委任状10名

1. 理事会が成立していることが確認され、議長に山根会長を、書記に高橋勝也会員を選出した。
2. 2015年度7月25日理事会議事録（案）が承認された。
3. 総会の議事次第が確認され、総会での議長に炭谷英一会員、書記に久井田直之会員が推薦された。
4. 2014年会務報告として、ニュースレター2014年冬号の発行の追加が報告された。
5. 選挙管理委員会から提出された理事選挙結果が確認され、20位が多数で同数（同順位）になることがありうるため、その時の取り扱いについて、同委員会からの説明があった。
6. 次期会計監査として、橋本勝会員と中谷武雄会員を選出し、前回の理事会で指摘された任期については、理事に準ずる3年間とすることが承認された。
7. 2014年度決算の説明があり、2014年度会計監査報告が示され、了承された。次いで2015年度予算の説明があり、今後の経費の削減の必要性が再確認された。
8. 事務局人事として、齋藤哲哉新事務局長が選出された。
9. 学会誌について、第34号は11月上旬に配布されること、今後の電子化に向けての対応、そして査読論文についての英語要約の採り入

れについての説明があり、了承された。

10. 2016 年春季研究集会について、金子実行委員長より、2016 年 3 月 28 日(月)に仙台市情報・産業プラザで春季研究集会を開催する方針が提案され、承認された。
11. 第 32 回全国大会について、炭谷英一実行委員長より、2016 年 9 月中旬に流通科学大学(神戸市)で全国大会を開催する方針が提案され、承認された。

【2015 年度経済教育学会総会議事録】

◆議長選出◆

炭谷英一会員を選出。書記は久井田直之。

◆審議事項◆

1. 2014 年度会務報告

2014 年 12 月のニューズレター 22 号の発行から第 31 回全国大会までの会務報告が行われた。

2. 2014 年度決算

新里会計担当理事から決算が報告され、フロアからの質問もなく承認された。

3. 2014 年度会計監査報告

横田監査担当から決算報告が適切に処理されているとの報告が行われ、会計監査における付帯意見を提出していることが伝えられた。

4. 2015 年度予算

新里会計担当理事から予算が報告され、理事会選挙および学会賞関係の例年と異なる支出があったことが説明された。今後、繰越金の減少から予算削減に取り組む必要があることも指摘された。またフロアから予算の一部の記載ミスが指摘があり、学会からのメールに web リンクを付け、改正版を確認できるように対応するとの返答がされた。

5. 理事会選挙結果と次期理事の承認

大坂理事から結果報告が行われ、次期理事が承認された。

6. 次期会計監査の選出について

山根会長から次期監査候補として橋本会員と中谷会員の二名の名前が挙げられ、承認された。任期が理事と同じ三年であることも確認された。

◆報告事項◆

1. 会費納入状況

大坂理事から 9 月 1 日現在の未納入者数は例年と変わらないとの報告がされた。

2. 会員の異動

大坂理事から若干の変動はあるものの大き

な会員数の変動がないことが報告された。

3. 2016 年春季研究報告集会

炭谷議長から、2016 年 3 月 28 日に仙台市情報・産業プラザに於いて、金子実行委員長のもと、春季研究報告集会が行われることが発表された。

4. 第 32 回全国大会

炭谷議長より、自らが実行委員長となり、2016 年 9 月中旬に流通科学大学に於いて第 32 回全国大会が行われることが発表された。

【2015 年 9 月 27 日(日) 経済教育学会理事会 議事録】

出席者(開催時点、以下同じく):

阿部信太郎、あんびるえつこ、井草剛、猪瀬武則、岩田年浩、大坂洋、金子浩一、河原和之、塩田尚樹、杉浦真理、田中淳、中里弘穂、松尾匡、八木尚志、山岡道男、山根栄次

オブザーバー: 中谷武雄、橋本勝、久井田直之、齋藤哲哉、炭谷英一、高橋勝也

定足数 10 名: 出席者 16 名、委任状 10 名

1. 理事会が成立していることが確認され、議長に山根栄次理事、書記に高橋勝也会員を選任した。
2. 新会長に猪瀬武則理事が選出された。
3. 2016 年度全国大会担当理事として炭谷英一会員を補充理事とすることが了承された。
4. 新事務局長に齋藤哲哉理事が選出され、新事務局会計理事として、久井田直之会員を補充理事とすることが了承された。
5. 学会誌担当理事について、田中淳理事を編集長に選任し、八木尚志理事の留任と塩田尚樹理事の選任が了承された。また、浅野忠克会員を編集協力者とするのと、2016 年 4 月より高橋勝也会員も学会誌担当理事とすることが了承された。(理事会メーリングリストで、高橋勝也会員の 2015 年 9 月 27 日からの理事就任が確認された)
6. 理事の学会業務分担について話し合わせ、2016 年 5 月、12 月のニューズレターの担当として井草剛理事、春季研究集会担当に金子浩一理事、ホームページ担当に大坂洋理事、国際交流担当に阿部信太郎理事が就任することが了承された。
7. 最後に、改革チームはしばらく組織しないことと、2017 年度に第 3 回学会賞を授与することが確認された。

《3月拡大理事会以降の新規入会者》

<新規入会者>

正会員	武部浩和(大阪市立住吉川小学校)	正会員	土井直(日本大学経済学部)
正会員	久井田直之(日本大学経済学部)	正会員	西尾圭一郎(愛知教育大学)
正会員	小山内幸治(滋賀短期大学)	正会員	末吉覚(大阪府立東大阪支援学校)
正会員	中島典子(子どもからの金融経済教育研究所)		
学生会員	柳田文男(同志社大学院生)	学生会員	島田聡(東北大学大学院環境科学研究科)
学生会員	何峰(早稲田大学アジア太平洋研究科)	学生会員	大森恵美(埼玉大学大学院経済科学研究科)

<会費納入のお願い>

2015年度の年会費をまだお支払いいただいていない方、過去に未納のある方につきましては納入のご依頼をお送りさせていただいております。下記の振替口座に年会費のお振込みをお願いいたします。

ゆうちょ銀行 口座番号：00920-3-252875 口座名義：経済教育学会

年会費：正会員 5,000 円、学生会員（大学院生を含む） 2,000 円、65 歳以上の会員 2,500 円

・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体（詳細は <http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>）

です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。なお、ニューズレター本号の送付より、以下規約通りの運営を行います。つきましては過去の会費の未納分がある方は早急に会費を納入願います。「5年以上にわたり会費を納めないものは、原則として会員の資格を失う。3年以上の滞納会員については、その旨を伝えて、本会の出版物の配布を保留することとする。（会則 5 より）」

<メールアドレス登録のお願い>

事務局では、学会運営と情報共有の円滑化のため、学会事務局へのメールアドレスの登録をお願いしております。登録されておられない方は学会事務局のメールアドレス office@ecoedu.jp に御知らせ願います。以下の QR コードより、携帯メールから登録可能です。

学会にメールアドレスを登録すると、大会、研究集会等の情報、学会ホームページの更新情報などを掲載したメールマガジンが登録したアドレスに届きます。



経済教育学会 ニューズレター 第 24 号

2015年12月1日発行

発行人 経済教育学会会長 猪瀬武則

編集人 あんびるえつこ 中里弘穂

発行所 日本大学経済学部 齋藤哲哉研究室

〒101-8360 東京都千代田区三崎町1-3-2

発送元 株式会社サラト（経済教育学会担当 古市）

〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172

印刷所 有限会社 エムディーエス

〒162-0811 東京都新宿区水道町2-13 江戸川橋HOビル

Tel : 03-5261-9021 Fax : 079-284-0904

<http://www.mds-pro.com>

<編集後記>

遅くなりましたが、ニューズレター24号をお届けします。秋の編集作業は木々の紅葉の移ろいを感じながら時間をせかされて進みます。東京は季節を感じにくい街かもしれません。個人的には銀杏の黄葉に東京の秋の深まりを感じます。神宮外苑の銀杏並木が有名ですが、日本体育大学世田谷キャンパスからほど近い、駒沢通りの銀杏並木も見事です。黄金色の落ち葉の絨毯を踏みしめながら歩くとき、どうか編集が終わり皆様のご協力に感謝しております。

(穂)

